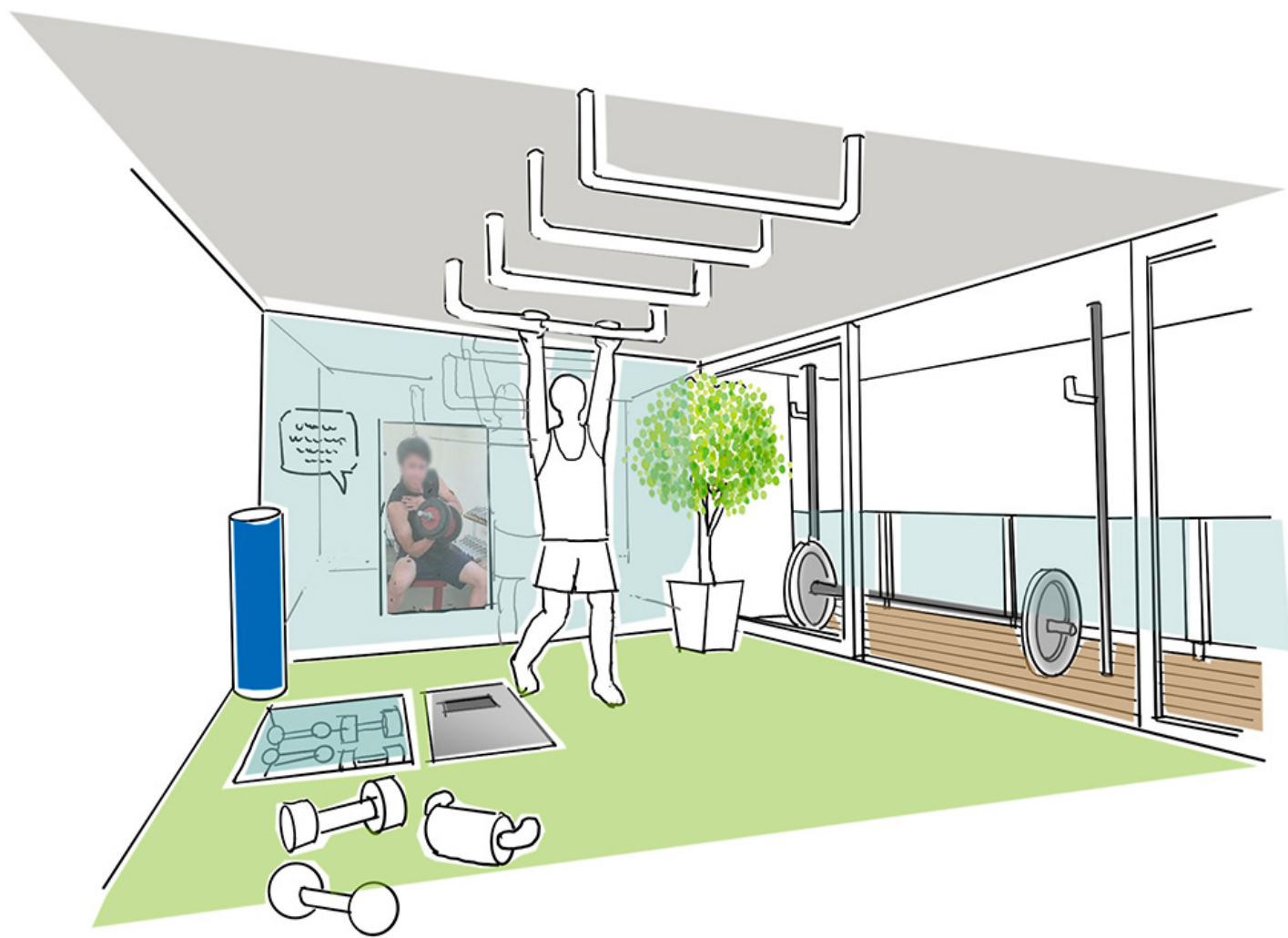


04.

体をつくる家



家での一挙一動がトレーニング。

いよいよ開催が迫った大会に向けて、トレーニングのペースもアップし、体を仕上げていく。日常の何気ない動作、家事そのものがトレーニング。20kgある物干し竿で洗濯＝筋トレに。天井からつられたフックは懸垂バー代わりに。鏡を見ればすぐに体がスキャンされ、浮かびあがる映像モニターからバーチャルトレーナーにコンタクトしたり、今必要な栄養素とカロリー計算がされたレシピや料理自体もすぐ注文できる。常に自分の体と向き合う事ができるこの家で徹底的に自分を鍛え上げていくそんな暮らし。



DEVELOPMENT

No.004

素敵なうさぎライフ研究所

Millennial
Concept House

i-Be²

sportio

sportio スポルティオ | Sport+接続語 io (Patio、Studioなど、場を示す印象)

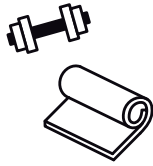


SAORI

体を動かすことが大好きで、
生活の中心にスポーツがある人のための家。
外で思い切り体を動かす人の
活動拠点となるような設計。

学生時代からバスケットボールに打ち込み、社会人選手としてもプレー。体を動かすことが大好きで、片道30分の自転車通勤が日課。一汗かくので帰宅後はすぐに洗濯機を回して、シャワーを浴びるのが日々のルーティーンですね。バスケットボール用品やゴルフの道具などが多いので、自宅の収納スペースが少ないことが悩みです。

家はフィジカル
メンテナンスの場。
いつでも体と
向き合いたい。



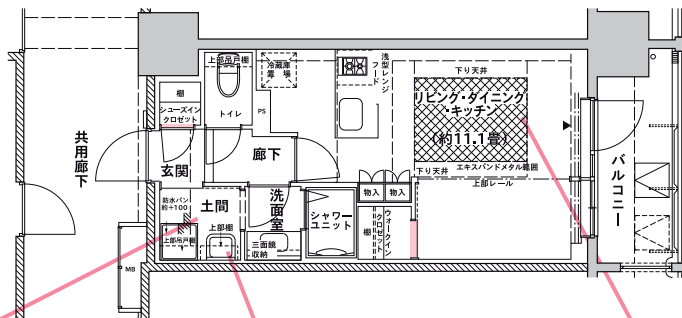
汗をかいて帰宅、
洗濯物は
いつも大量。



汚れがひどいものや
シューズなどの
ドロ汚れもたくさん。



PLAN



プランPOINT

玄関横に土間を設け、
居室に持ち込みたくないものを
入口でシャットアウト。
洋室とリビングの間仕切りを
取る事で、一体空間として
広々利用が可能に。

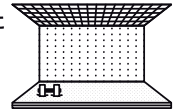
土間部分が広く、
汚れ物は
土足のまま
片づけられる。



洗面用とは別の
汚れもの専用シンクも
あるので、
清潔感をキープ。



床全体がヨガマットの
ような素材。壁や天井に
トレーニング用品や
洗濯物を引っ掛けたり
収納できる。



そんなアスリートライフのための“sportio”プラン



※イメージ



※イメージ



DEVELOPMENT

No.004

素敵なうさぎライフ研究所

Millennial
Concept House

i-Be²

うさ研とは？

いま、かつての「大きいことがいいこと」という時代から「コンパクトな暮らし」を楽しむ時代に変わりつつあります。かつて“うさぎ小屋”と呼ばれたわたしたちの住まい。素敵なうさぎライフ研究所＝うさ研は、「いま」のライフスタイルをもとに、新しい“うさぎ小屋”の暮らしを研究し、わたしたちにいろいろな色の、こんな暮らしがしたかったというアイデアを提案します。



i-Be²とは？

自分らしい個性を住まいにも求めるミレニアル世代。大衆向けの平均的なものではなく、いびつでアンバランスな個性を持つ人にぴったりな居場所を作れないか。そんな発想から、アンバランスな私たちのアンバランスな住まい「i-Be²」は生まれました。



i-Be²
イビツ

i-Be² 開発の経緯

- ・今や世界を変えつつあると言われるミレニアル世代(1980年代～2000年代序盤生まれ)の意識や生活行動は、住生活においても従来の常識を覆す新しい市場を生み出す可能性を秘めています。
- ・そこでこのプロジェクトでは、都内に居住するミレニアル世代の単身女性(ミレニアルズ)を対象にエスノグラフィ(製品開発に活かすためのユーザー観察の手法)を中心としたリサーチを実施。
- ・その結果、自分らしい個性的な生き方を愛するミレニアルズは、画一的な枠組みに収められることを好まず、自分にふさわしい個性を住まいに対しても求める願望があることを明らかにしました。
- ・「大衆」に向けて設計された平均値発想の間取りや仕様・設備ではミレニアルズの真の期待に応えることはできない。均整のとれた汎用性を目指すのではなく、コンパクトマンションの優位性を活かして、ちょっといびつでアンバランスな個性を持つ人にぴったりな「自分らしい居場所」を作れないだろうか。そんな発想から、“アンバランスな私たちのアンバランスな住まい”「i-Be²」は生まれました。
- ・「i-Be²」とは、私(i)がもっともっと自分らしく(Be2)生きられるという意味と、「いびつ(仏:Baroque)」の意味を重ね合わせたネーミングです。